

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム いなほ園作成日: 令和5年1月19日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加委員の増員やテーマを決めた会議の開催等、今後の会議の発展に向けて検討していく。また、地域福祉の拠点となる事業所の重要な窓口として位置づけ、会議運営に取り組んでいく。	一方的な報告で終わらないように、委員から出された質問や意見を議事録に記載し、記録として残していく。会議の中でミニ勉強会を行ったり、地域の課題の解決に向けて話し合う等、ホームと地域、双方の発展に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
2		職員の確保と定着に向けた取り組み	職員の離職により、職員不足の状態が続いている。職員の定着と人材確保に向けて具体的に取り組んでいく。	職員との個人面談を頻繁に行ったり、職員アンケートを実施し、悩みや不安、不満の把握に努め、早めの対応に努めていく。また、職員紹介制度を取り入れたり、コロナ収束後には実習やボランティアを積極的に受け入れ、採用に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。